

結婚対策事業“YOU & YOU”は、山都町の独身の方々の「結婚を考えているが会える機会がない」という多くの声から生まれました。「会える機会がないな」という方や、「婚活は不安だな」と迷っている方のためにYOU & YOUがサポートします。女性の登録は県内外からも受け付けており、出会いから交際開始まではもちろん、結婚までのアドバイスも行います。不安や心配など、なんでも相談OKです！

楽しみながら「素敵な出会い」を探しませんか？



★アウトドア交流会☆



★収穫体験☆



★プチキャンプ交流会☆

交流会に参加された方の中から、これまで“41組のご夫婦”が誕生しました。素敵なパートナーとの出会いは、あなたの勇気ある一歩から始まります！まずはお気軽に事務局またはお近くの結婚相談員までお声掛けください。お待ちしております♪

問合せ先 YOU&YOU事務局（役場山の都創造課）坂元・吉田  
【電話番号】0967-72-1158【専用電話】090-9565-9589  
【専用アドレス】marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp



やまと文化の森だより



企画展のご案内 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が変更になる場合があります。

○山都町写真コンテスト作品展

期間：3月3日～3月14日 ※最終日は15:30までの展示となります。  
今年の山都町写真コンテストの入賞作品27点を一堂に展示します。本コンテストは、芸術的な視点からの評価だけでなく、新たな観光スポットを写真家の皆様に発見していただくことを目的に開催しているものです。作品の中には、ここはどこだろう…という場所もあり、面白いですよ。写真家の皆さんが撮影された山都町の四季折々の風景をどうぞご覧ください。



○飯星義捷 クラフト作品展

期日：3月2日～3月28日 ※最終日は15:30までの展示となります。  
矢部地区御所在の飯星義捷（いいほしよしかつ）さんによるクラフト作品展。ひとつひとつ丁寧に作られた木工品が並びます。

○～やまと文化の森の開館5周年記念～風の音楽（うた）Viento コンサート【入場無料】

期日：3月20日 13:00～14:30  
開館5周年を記念し、山都町とも縁が深いVientoのお二人によるコンサートを開催します。  
通潤橋をテーマにした曲「水物語」が、新たな「水の大地」に生まれ変わりました。春のように優しくそして力強いVientoの曲とともに、春の訪れを感じませんか。



○吉村和敏の写真で見る「赤毛のアン」展も引き続き開催中です！

期間：3月28日まで ※最終日は15:30までの展示となります。

問合せ先 山都町下市16番地 ☎72-9400 開館時間 9:00～17:00 入館無料  
休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日又は振替休日の場合はその翌日）、年末年始等

わたしたちの人権

192

誰もが人間として生きていくうえで 侵すことのできない当然の権利 これが『人権』です

人権作文紹介

今月号では、矢部中学校三年生の八本真歩さんの人権作文をご紹介します。

「私の選択」を学んで

私は「私の選択」の学習を通して、自分の中にあるおかしなことに気づき、「本当のいい高校」が何なのかを知ることができました。

私はこの学習をするまで偏差値の高い高校がいい高校だと思っていました。学力の高い高校に行けば、将来の職業の幅も広がるし、周りからの見方も変わってくると思っていました。でも、今回の学習を通して高校で人を区別する周りの人たちが、おかしいのではないかと思うようになりました。「私の選択」の中にもあったように、人の値打ちは入学した学校や卒業した学校で決まるものではないと思うようになりました。自分自身も人を学歴で決めつけるような人には絶対なりたくな

いと思いました。

また、今回の学習で「本当のいい高校」が何なのか知ることができました。三年生になり、友達と話したりするときも、進路の話題が増えました。その時は何も思いませんでしたが、今振り返ってみると、学力の高い人は偏差値の高い高校に行くという勝手な思い込みが自分の中にあつたということに気がつくました。行きたい高校が一人一人違うように、「いい高校」もそれぞれで考え方が違うのだと思うようになりました。そして、その人が本当に「行きたい」と思える高校に行くことが、胸を張って生きることにつながるのではないかなと思いました。

最後に、今回この「私の選択」を学んで、自分の中のおかしなことに気づき、自分の本当の「行きたい高校」がどこなのかを知ることができました。今までは正直、自分の学力や周りの人の言葉を気にしすぎて、本当の「行きたい高校」がどこなのか



かっていませんでした。でも、今回の学習を通して「自分の中のいい高校」が決まったし、そこから「行きたい高校」も決めることができました。また、自分の中の「いい高校」は自分が考えるものであつて、それを他の人に押し付けたりしてはいけなないと思えました。

これからは、周りの人が考える「いい高校」のことも理解していくことも大切だと思います。また、周りの人の高校に対する考え方を自分の進路選択に役立てていきたいし、自分の本当に行きたい高校に行けるように一生懸命頑張っていきたいです。

思い込みや偏見をなくしていきましよう

「女のくせに料理もできないのか」「年寄りのくせにそんな派手な服を着て」「子どものくせに生意気なことを言うな」などと、言うことはありませんか？これらは、日常生活の中で、つい何気なく交わしがちな会話の一つです。

しかし、よく考えてみると、これらに「女は料理ができるものだ」「年寄りには地味にしておくものだ」「子どもは素直に言うことを聞くもの

だ」などといった思い込みが潜んでいます。一人ひとりの個性を見るのではなく、集団やグループをひとまとめに考え、固定的にレッテルをはってしまふのは、偏見や差別につながります。

偏見は、科学的な根拠のない話や噂などを安易に受け入れたり、物事を一面的にしかとらえずに、よく確かめようとしなかったり、自分自身で考え、判断しなかったりする態度から生まれます。

思い込みや偏見をなくすには、生活の様々な場面において、物事を正しくとらえようとする意欲、相手の立場や気持ちをわかろうとする姿勢、物事を表面的にとらえずに深く掘り下げる考え方を持つことが大切です。

熊本県人権同和政策課作成「人権研修テキスト 同和問題（部落差別）編P28より抜粋」

日常生活の中での「人権感覚」を磨きましょう！思い込みや偏見に気づき、自分自身で考えて行動する力は、部落差別をはじめあらゆる差別なくすために必要な力です。